

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	統括部局：教務部	担当部局：教務部
大項目	6 教育内容・方法・成果 《全学的な視点》	
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針	
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。	
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示	
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。	
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示	
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。	
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法	
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。	
要素		

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 関西学院大学の学生に身につけさせたい知識や能力を「KG学士力」として定義する。	→「KG学士力」の定義	B	A	A	/	/
2. 「KG学士力」に対応した教育目標や学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を明示、公表する。	→教育目標、学位授与の方針、教育課程の編成・実施方針の決定、公表	C	B	A	/	/
3. 「KG学士力」の質を保証するための仕組みを構築する。	→質保証するための仕組みの構築	C	C	C	/	/
4. 「KG学士力」の質が保証できているかを検証するシステムを構築し、明示する。	→検証システムの構築、明示	C	C	C	/	/

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	関西学院大学の学生が共通して身につけておくべき知識・能力を「KG学士力」として定めることとし、2011年3月の教務委員会で定義案が承認され、2011年6月大学評議会で承認された。
目標2	各学部では、「KG学士力」の具体的な要素をもとに、各学部が学則別表に定める「人材の養成に関する目的その他の教育上の目的」にしたがい、学位授与方針(=DP)、教育課程の編成・実施方針(=CP)を2011年度に設定した。教育目標、DP、CPは、本学ホームページのトップページ「情報の公表」で統一的に公表するとともに、各学部の履修心得等でも公表している。
☆ 目標3	KG学士力およびDP、CPが設定されたばかりであり、KG学士力とCP・DPとの整合性、適切性を定期的に検証する仕組みづくりは、これからの検討課題である。
目標4	KG学士力に定めた知識・能力の到達度を測るためには、今後は在学生調査、卒業生調査等にも関連項目を設定し、検証システムの構築と明示を検討することが必要である。
備考	